**第14期ユネスコスクールSDGsアシストプロジェクト**

**助成金使用にあたっての留意点と報告書提出について**

助成金使用にあたっての留意点

1. **助成金申請内容を原則、変更することはできません。**ただし、止むを得ない事情で活動計画の実行が困難な場合は、事前にご連絡いただき、ご事情をお伺いした上で、変更の可否を決定させていただきます。
2. 助成対象事業（10万円枠）は、2023年4月1日以降に活動を開始し、2024年2月29日までの間に活動を終了するものです。申請時、助成金使用期間を2024年3月31日までと記入された学校がございましたが、2024年2月29日までに終了するようご注意ください。30万円枠の事業は、2025年2月28日までに終了してください。
3. 申請金額から減額されて助成決定されている場合は、採択通知に減額項目が記載されていますので、その項目は、助成金の使途から外して実施してください。
4. 助成金を活用した事業の成果報告会を、近隣の三菱UFJ銀行とユネスコ協会・クラブが見学させていただくことがありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。
5. 助成金で購入した備品には、同封のシールを貼付してください。同様に、助成金を用いて作成した印刷物(冊子、活動報告書、研究紀要、指導書等)などには「第14回ユネスコスクールSDGsアシストプロジェクト」の助成金による旨、表示してください。



例)本冊子は「第14期ユネスコスクールSDGsアシストプロジェクト」の助成を受けて作成されました。

本活動は「第14期ユネスコスクールSDGsアシストプロジェクト」により実施しています。

1. 申請された事業が終了次第、速やかに同封の事業報告書と会計報告書を、支出に関係する領収書と共にご提出ください。締切は以下の通りです。

【10万円枠】：2024年3月6日（水）正午【データ提出】

　　　　　　　※様式A-1、B、C、Dをご提出ください。

【30万円枠】：①中間報告書提出　2024年3月6日（水）正午【データ提出】

　　　　　　　　 ※様式A-2、C、Dをご提出ください。

②最終報告書提出　2025年3月6日（木）正午【データ提出】

　　　　　　　　　※様式A-1、B、C、Dをご提出ください。

報告書のご提出について

助成事業終了後、以下の活動報告書を期限までにご提出ください（必着）

**◆締め切り：【10万円枠】2024年3月6日（水）　※様式A-1、B、C、Dを提出**

**【30万円枠】①2024年3月6日（水）※様式A-2、C、Dを提出**

**②2025年3月6日（木）※様式A-1、B、C、Dを提出**

1. **事業報告書（WORDで提出／添付書式1～2枚程度）**
2. 助成校（10万円枠）は、様式A-1最終報告書を使用してください。助成校（30万円枠）は、1年目終了時にA-2中間報告書、2年目終了時にA-1最終報告書を提出してください。
3. 当方の責任において公表し、他の参考にさせていただく場合もございます。また、当連盟のホームページ等で掲載させていただくことがありますので、予めご了承ください。

※写真等の掲載が難しい場合には、その旨をお書きください。

1. 活動の様子が分かる写真（jpegデータ）に加え、報道（新聞記事等）、児童・生徒のアンケートや感想文、使用したワークシート等の教材や指導案などございましたら、併せて、データでご提出ください。その他、助成金で作成した印刷物（下記④参照）がある場合は、別途、郵送にて1部お送りください。
2. 助成金で購入した備品には同封のシールを貼付してください。同様に助成金を用いて作成した印刷物（冊子、活動報告書、研究紀要、指導書等）には、「第14回ユネスコスクールSDGsアシストプロジェクト」の助成金による旨、印字してください。

例)本冊子は「第14期ユネスコスクールSDGsアシストプロジェクト」の助成を受けて作成されました。

本活動は「第14期ユネスコスクールSDGsアシストプロジェクト」により実施しています。

1. 本報告書用紙は、2023年5月中旬以降、https://www.unesco.or.jp/sdgs-assist/からダウンロード可能となります。
2. **実施アンケート（WORDで提出）**
3. **会計報告書（押印後、PDFで提出）**

30万円枠の助成校は、1年ごとに提出してください。

1. **領収書（原本は各学校で保管し、PDFで提出）**

**※上記A～Dの全ての書類を、メールにて（****teacher-esd@unesco.or.jp****）お送りください。**

**お問い合わせ先**

 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟「第14期ユネスコスクールSDGsアシストプロジェクト」係

TEL：03-5424-1121 FAX:　03-5424-1126 E-mail：teacher-esd@unesco.or.jp

A-1　最終報告書【10万円枠（2024年3月6日締切）／30万円枠（2025年3月6日締切）】

**第14回ユネスコスクールSDGsアシストプロジェクト**

**助成金利用報告書**（申請年度：2021年度、実施年度：2022年度～）

|  |  |
| --- | --- |
| 学校名 |  |
| 助成プロジェクト名 |  |
| 主な教科領域等 | 教科領域（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| キーワード※複数回答可 | 環境学習、国際理解、平和・人権、世界遺産・地域遺産学習、防災・減災教育、気候変動、その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 助成活動に参加した生徒数 | 　　　学年　　　人 |
| その他の参加者数 | 地域住民・保護者（　　　人）その他（　　　　　　　　　　　　　） |
| 助成活動期間 | 年　　 月　 　日 ～　 　　年　 　月　 　日 |
| ※以下、文字制限はありませんので、具体的な活動の様子や成果が分かるように、記入してください。■助成活動の目的・ねらい■助成活動内容■成果①児童生徒にとって、具体的にどのような学び（変容）があり、どのような力を身につけたか。■成果②教師や保護者、地域、関係機関等に対するインパクト（例えば、発表会を通じて、保護者への啓発にもつながった等）■自校の実践で工夫した点、特筆すべき点■今後の改善に向けた方策や展望 |

A-2　中間報告書【30万円枠の助成校のみ（2024年3月6日締切）】

**第14回ユネスコスクールSDGsアシストプロジェクト**

**助成金利用報告書**（申請年度：2021年度、実施年度：2022年度）

|  |  |
| --- | --- |
| 学校名 |  |
| 助成プロジェクト名 |  |
| 主な教科領域等 | 教科領域（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| キーワード※複数回答可 | 環境学習、国際理解、平和・人権、世界遺産・地域遺産学習、防災・減災教育、気候変動、その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 助成活動に参加した生徒数 | 　　　学年　　　人 |
| その他の参加者数 | 地域住民・保護者（　　　人）その他（　　　　　　　　　　　　　） |
| 助成活動期間 | 年　　 月　 　日 ～　 　　年　 　月　 　日 |
| ※以下、文字制限はありませんので、具体的な活動の様子や成果が分かるように、記入してください。■助成活動の目的・ねらい（1年目）■助成活動内容■成果①児童生徒にとって、具体的にどのような学び（変容）があり、どのような力を身につけたか。■成果②教師や保護者、地域、関係機関等に対するインパクト（例えば、発表会を通じて、保護者への啓発にもつながった等）■自校の実践で工夫した点、特筆すべき点■プロジェクト2年目に向けた方策や展望　 |

B　実施アンケート　　※該当する項目に☑　をつけてください。

1. 本助成金を当初の申請書に沿った形で実施することができましたか。

　□予定通り実施できた　　　□一部予定が変更になった　　　□大幅に予定を変更した

　※変更となった場合は、その理由をお書きください。

1. 本助成金は貴校のESD活動の推進に役に立ちましたか。

　□大いに役に立った　　　　□役に立った　　　　　□効果的な活用にならなかった

　□その他（　　　　　　　　　　　　　　）

1. 今後どのような分野のESDに取り組みたいですか（複数回答可）

□ 環境教育　　□気候変動　　□ 平和・人権　　□国際理解　　□世界遺産・地域遺産

□ 防災・減災　□その他（ 　）

1. 貴校におけるさらなるＥＳＤ活動の推進の為に必要な事は何ですか（複数回答可）

□ESD活動のための資料・情報収集

□ESDを学校全体で推進するための組織づくり

□時間的ゆとり

□専門家による指導支援

□他のユネスコスクールとの交流

□保護者・地域との連携

□教職員への研修

□ＩＣＴ環境の整備

□ESD活動のための継続的な費用

□カリキュラムの改善

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

5. 国内で、一緒に活動できる学校やユネスコスクール同士のつながりはありますか。（複数回答可）

□ある（同じ地域の学校） 　　□ある（遠方の学校）　 　 □なし

【「ある」と答えた学校】交流のきっかけや頻度を教えてください。

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

【「なし」と答えた学校】交流を希望する学校があれば、交流してみたいですか。

□是非交流したい　　□希望しない　　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　）

6. 海外で、一緒に活動できる学校やユネスコスクール同士のつながりはありますか。

□ある　 □なし

【「ある」と答えた学校】交流のきっかけや頻度を教えてください。

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

【「なし」と答えた学校】日本との交流を希望する学校があれば、交流してみたいですか。

□是非交流したい　□興味はあるが語学面が不安　□希望しない　□その他（　　　　　　）

7.　ESD活動において、地域社会との連携はありますか。（複数回答可）

　　□ある（ユネスコ協会・クラブ）　□ある（左記以外の団体）　　□なし

【「ある」と答えた学校】活動内容と連携相手の役割を教えてください。

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

【「なし」と答えた学校】今後貴校のESD学習において、地域社会との連携を希望しますか。

□希望する　　□希望しない

【「（今後の連携を）希望する」と答えた学校】どのような活動や連携先を希望しますか。

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

8. 今後、ESDの取組実践（小中高）を学ぶ教員向け研修会や、子どもによる発表会など、学校間交流の機会があれば、参加したいと思いますか。

【教員向け研修会】□はい　□いいえ　【子どもたちによる発表会】□はい　□いいえ

9. 当連盟の国際理解教育関連事業（リーフレット制作、書きそんじハガキキャンペーンなど）に参加したことはありますか。また、それらの活動に本助成金を活用したことはありますか。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 参加経験 | 助成金の活用 |
| 寺子屋リーフレット制作プロジェクト | ある ・　なし | ある ・　なし |
| 書きそんじハガキキャンペーン | ある ・　なし | ある ・　なし |
| 三菱アジアこども絵日記フェスタ | ある ・　なし | ある ・　なし |
| カンボジアスタディツアー | ある ・　なし | ある ・　なし |

10．本助成金の案内を含め、当連盟から学校を対象とした事業について告知する場合、どのような広報を希望しますか（複数回答可）

□ユネスコスクールのHPに掲載

□日本ユネスコ協会連盟のHPに掲載

□地域のユネスコ協会からの声掛け

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　）

□各学校へ資料を郵送

□各学校へメールを配信

□各学校へ電話

□教育委員会経由の連絡

11. 長期休業期間中に、助成校代表教員が途上国の寺子屋（学びの場）をスタディツアー等で訪問し、事前・事後学習とあわせて、各学校独自の国際理解教育を展開する機会があれば、参加してみたいですか。

□はい　 　□いいえ

12. 今後、三菱UFJ銀行関係者が、貴校で職業講話をする機会があるとしたら、希望しますか。

□希望する　□希望しない

13. その他、SDGsアシストプロジェクトについてお困りの点、改善点、要望などを自由にご記入お願いします。

どうもありがとうございました。

C　会計報告書

　第14期ユネスコスクールSDGsアシストプロジェクト助成金会計報告書

学校名

記入責任者氏名　　　　　　　　　　　　　　　㊞

電話：　　　　 　　　　FAX：

e-mail：

　●費目名ごとに決算額を合計してください。

　●費目名と領収書番号を対応させてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 費 目 名 | 詳細 | 決算額 | 領収書番号 |
| 旅費交通費 | 小型バス　20,000×2台＝40,000電車　　　　1,510×6人＝9,060 | ￥　49,060 | 　①　② |

（例）

【収入】

|  |  |
| --- | --- |
| **内訳** | **金額** |
| ユネスコスクールSDGsアシストプロジェクト助成金 | ￥ |
| その他 | ￥ |
| **合　　計** | **￥** |

【支出】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 費 目 名 | 使途(内容、単価、個数) | 決算額 | 領収書番号 |
| 諸謝金 |  |  |  |
| 旅費交通費 |  |  |  |
| 通信費 |  |  |  |
| 印刷製本費 |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |
| 雑費 |  |  |  |
| その他 |  |  |  |
| 合 計 |  |  |  |

D　領収書添付用紙　 ※ **原本は各学校で保管し、PDFデータのみお送りください。**

* 本用紙の領収書番号とC会計報告書の領収書番号が一致するよう貼付して下さい。
* 複数の領収証が重ならないように貼付してください。
* 枠が足りない場合は用紙をコピーし、領収書番号を連番に訂正してください。

|  |
| --- |
| 領収書番号① |
|  |
| 領収書番号② |
|  |